漢文入門

訓読の世界　―　現代語訳　―

鳥は美しい声でさえずり、花は芳しい匂いで香る。

空は晴れ渡り、空気は澄んでいる。

大きな器は、出来上がるまでに時間がかかる（大人物は晩年になって大成するものだ）。

災難にうまく対処して、それを幸福に変えてしまう。

若い人はすぐに年を取り、学問が成就するのは難しい。

人は学ばなければ、道を得ることができない。

（肉屋が）看板として羊の頭を掲げておいて、実際には犬の肉を売る。

他人から百回聞くことは、実際に自分の目で一度見ることに及ばない。

私は一日に何度も自分を反省してみる。

君子は自分の言葉が実践を上回ってしまうのを恥じる。

優れた為政者は、立派なことを言う人がいてもその言葉だけで登用したりしない。その人が立派でないからといってその人の言葉まで切り捨てることはない。

他人の悪い点を言い立てる者を憎む。

子孫によく肥えた田畑を買い残したりしない。

病気によく効く薬は口に苦く感じるものである。

青の染料は藍の草から取り出す。

友人に信用されない。

過失を犯したことに気づきながら、それを改めないことこそが本当の過失だ。

目の前のことに集中できなければ、いくら見ても目に入ってこない。

何人かで行動すると、必ずその中に自分の師とすべき人がいる。

まだ生も分からないのに、どうして死が分かるだろうか（いや分からない）。

老いがやって来ることにも気がつかない。

なすべきときに励むべきである。

行き過ぎは不十分であるのとちょうど同じようなものである。

ただ仁者だけが高位におるべきである。

生きていて心にかなうことがあれば喜びを極めるのがよい。